

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(都道府県名: 千葉県 令和3年度)

| 市町村名 | 事業実施主体名 | メニュー① (対象作物・畜種等名)① | 類別 | 事業実施後の状況① | | | | | | | 成果目標の具体的な実績① | メニュー② (対象作物・畜種等名)② | 類別 | 事業実施後の状況② | | | | | | | 成果目標の具体的な実績② | 事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等) | 事業費 (円) | 負担区分(円) | | | | 完了年月日 | 事業実施主体の評価 | 都道府県の評価 | 備考 | | | |
|-----------|-----------|--------------------------------|--|--|---------------------------|--------------------|---------------------|--------------------|-----------|--|---|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------|--------------|--------------|----------------------|----------------------|------------------|---------------------|--------------------|-----------------------------|---|--|-----------------|---|--|---------------|----------------|---|-------------|----------------|---|--|
| | | | | 計画時 | 1年後 | 2年後 | 3年後 | 4年後 | 目標値(令和2年) | 達成率 | | | | 計画時 | 1年後 | 2年後 | 3年後 | 4年後 | 目標値(令和2年) | 達成率 | | | | 交付金 | 都道府県費 | 市町村費 | その他 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 交付金 | 都道府県費 | 市町村費 |
| 君津市 | 株式会社まどか | 産地競争力の強化に向けた総合的推進(野菜(トマト)) | 118 | (平成28年) 17.1t/10a | (平成29年) - | (平成30年) - | (令和元年) 10.9t/10a | (令和2年) 3.2t/10a | 26t/10a | -156.2% | 令和元年度、不良果(尻腐れ果)が発生し、再発の危険が高いと判断したため、発生程度により令和2年の4~7月の栽培面積は全面積の23%とした。不良果(尻腐れ果)への対策として屋根への遮光剤塗布を行ったり、灌水濃度を変更したりしたが春から不良果が出始め7月まで続いてしまった。また、コロナ禍の影響で販売委託先である日本デルモンテアグリが対面での新規商談ができず新規顧客の開拓がほとんど進まなかったため、令和2年の10月~令和3年3月の栽培面積は全面積の12%での栽培となったため目標値に届かなかった。 | 121 | 事業実施施設の契約取引の割合を全体取引量の92.5%引き上げる | (平成28年) 契約出荷率59.0% | (平成29年) - | (平成30年) - | (令和元年) 契約出荷率99.9% | (令和2年) 契約出荷率99.3% | 契約出荷率 92.5% | 全出荷量 1,274,000kg | 契約出荷量 111,884kg | 全出荷量 387,738kg | 契約出荷量 111,156kg | 120.3% | 目標値を達成することができた。 | 耕種作物産地基幹施設整備 生産技術高度化施設 フェンロー型 調査及び養液 栽培施設 (43,929.6㎡) 集出荷貯蔵施設 (2,995.2㎡) | 平成29年度 492,551,820 平成30年度 514,562,220 | 413,561,000 | 0 | 0 | 593,553,040 | 平成31年 3月14日 | 大玉トマトであるぜいたくトマトの不良果を計上している。グループの日本デルモンテ社がぜいたくトマトの秀品種、収穫量向上のため品種改良に取り組みしており、君津とまどかグループでも改良品種の栽培テストを行っている。今後も品種改良、栽培テストは継続しながら当初計画への復帰を目指す。 | 障害果(尻腐れ果)の発生やコロナによる販売戻環境の悪化等の影響で当初計画どおりの生産・販売ができず、目標を大幅に下回ってしまった。今後は品種、作型、栽培技術など基本的な部分から見直しを図り、出荷量を増加できるような関係機関で支援を行う。 契約出荷率については順調に推移しているものの、トータル出荷量増加が喫緊の課題であることから、引き続き支援を継続する。 |
| 君津市 | 合同会社アグリード | 産地収益力の強化に向けた総合的推進(葉菜類・リーフレタス等) | 120 | (平成29年) 新設植物工場リーフレタス栽培1回にかかるとの総労働時間: 273.02時間 ※現状態は、全国平均労働時間と比較して41%以上縮減 | (平成30年) 建設(平成30年10月着工) | (令和元年) 132.89時間 | (令和2年) 155.95時間 | - | 73.7% | コロナ禍の中、比較的影響の少ないコンビニ関係の需要が順調であったことから増産に備え地元中心に人員を先行的に確保、よって前年実績より後退。 | 121 | 産地収益力の強化に向けた総合的推進(葉菜類・リーフレタス等) | (平成29年) 全出荷量に占める契約取引の割合81% | (平成30年) 建設(平成30年10月着工) | 15% | 89% | 全出荷量に占める契約取引の割合81% | 全出荷量 5,510,405株 | 契約出荷量 11,190株 | 全出荷量 74,590株 | 契約出荷量 488,000株 | 124.2% | 人員確保が概ね順調であった。コンビニ関係からの受注に応える事が出来、必然的に契約取引割合が高くなった。 | ・非耕種作物産地 基幹施設整備 ・閉鎖型植物工場 ・敷地面積 6,033.32㎡ ・建物面積 2,514.93㎡、30列×12段 ・延床面積 3,163.006㎡ ・リーフレタス 100g、15,097株 ・構造: 鉄骨造 合金メッキ鋼板葺 | 1,833,667,524 | 813,540,000 | | 1,020,127,524 | 平成31年 4月22日 | 予定していたホテル・飲食関係はコロナ禍の影響で大きく減少したため、出荷量が低くなっている。コンビニやスーパーとの契約を増やすことで契約割合の目標は達成しているが、販路の確保が今後の課題である。 労働時間については、出荷量に対して作業人員が多く、目標未達成となっている。販路を拡大し出荷量を伸ばすことで目標達成できると考えられるため、引き続き支援を行う。 | | | | |
| 都道府県平均達成率 | 68.43% | 総合所見 | 県平均の達成率は68.43%と目標未達成であった。どちらの計画も生産量の増加が課題であるため、関係機関と連携して支援を継続する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |